

会議録

会議名	第26期小金井市公民館企画実行委員の会議 第21回
事務局	公民館貫井北分館
開催日時	令和4年4月5日(火) 午前10時～11時
開催場所	公民館貫井北分館 学習室D
出席委員	閑野委員、林委員、本多委員、福田委員、森委員
欠席委員	原委員
事務局員	村山分館長、伊藤副分館長、野津、高木
傍聴の可否	可
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由	<p>1 報告事項</p> <p>1) 第36期小金井市公民館運営審議会第4回審議会</p> <p>2) 講座(開催前)</p> <p>成人教育事業</p> <p>①市内の公民館5館の共通講座「はなみずき学級」</p> <p>②市民講座 地域福祉のための講座「認知症介護の座談会」</p> <p>③成人学校 健康づくり講座 「健康な体づくりをし皆で楽しく歩きましょう」</p> <p>④成人学校 きたまちセンターの花づくり・緑化活動「準備会」</p> <p>⑤成人学校 地域研究「春のむさしの散歩」</p> <p>⑥成人学校 子ども・子育て支援 「自分も家族も大切にするコミュニケーション」</p> <p>文化活動事業</p> <p>⑦地域の芸術活動支援講座「浴衣の着付と日本舞踊」</p> <p>男女共同参画事業</p> <p>⑧男女共同参画講座 「コロナ禍を経験して考える人と地域がつながる共生社会」</p> <p>3) 講座(開催中)</p> <p>成人教育事業</p> <p>①市民講座 地域福祉のための講座「認知症カフェぬくいきた」</p> <p>4) 講座(開催後)</p> <p>青少年教育事業</p> <p>①世代間交流の推進 「サイエンスカフェ どうなる?月開発の未来～みんなで考え、語り合おう～」</p> <p>②世代間交流の推進 「サイエンスカフェ コミュニケーションを科学する～誰もが暮らしやすい社会のこと～」</p> <p>③世代間交流の推進 「SDGsで何をやったらいいか悩む人向け『ハマるSDGs』」</p> <p>成人教育事業</p>

	<p>④市民講座 地域福祉のための講座 「座談会—認知症の介護が始まったとき—」</p> <p>⑤成人学校 健康づくり講座「おうち時間で楽しむ俳句入門」</p> <p>⑥成人学校 地域研究 「こがねい散歩～武蔵小金井駅南口の発展をみる～」</p> <p>⑦成人学校 きたまちセンターの花づくり・緑化活動 「きたまちセンターの花サポーター講座」</p> <p>文化活動事業</p> <p>⑧利用団体のつどい「第8回貫井北センターまつり」</p> <p>図書館貫井北分室・公民館貫井北分館連携事業</p> <p>⑨『死』と『生』を絵本で語り合うデスカフェ」</p> <p>⑩「手製本工房きたまち堂」</p> <p>2 審議事項</p> <p>3 その他</p> <p>1) ロッカー抽選会</p> <p>2) 利用者懇談会</p>
--	---

1 報告事項

1) 第36期小金井市公民館運営審議会第4回審議会

- ・Webex meeting 利用によるオンライン 貫井北分館からは欠席

2) 講座（開催前）

成人教育事業

①市内の公民館5館の共通講座「はなみずき学級」

- ・対象者 今年度から65歳以上に変更
- ・3月25日から各館チラシ配布、ポスター掲示
- ・往復はがきでの申し込み4月20日〆切（必着）
- ・第1回目5月12日開催（～12月22日、全15回）

②市民講座 地域福祉のための講座「認知症介護の座談会」

- ・4月～9月の第3木曜日開催
- ・参加者の数は増えないが、少数であるため参加者からの話をゆっくり傾聴出来るため、満足度は高いと思われる
- ・今後、3か月間継続して様子を見る

③成人学校 健康づくり講座「健康な体づくりをし皆で楽しく歩きましょう」

- ・3月30日申し込み〆切
- ・電話と窓口で18人応募 参加者12人 抽選当落の結果を報告する上で、電話だと繋がらないことがある
- ・申し込みと実施の年度が変わって、仕事などの関係で参加が難しくなってしまった方も

④成人学校 きたまちセンターの花づくり・緑化活動「準備会」

- ・4月20日午前10時から11時まで 場所は学習室CD
- ・4月27日午前10時から花壇と鉢植えの植え替え作業

⑤成人学校 地域研究「春のむさしの散歩」

- ・ 3月30日申し込み〆切
- ・メールと葉書で30人の申し込み 申込多数となったため抽選を行い、12人に。

⑥成人学校 子ども・子育て支援「自分も家族も大切にするコミュニケーション」

- ・ 6月2日から開催、全4回、定員15人
- ・ 4月15日から受付開始
- ・ 担当 6月2日 林委員、6月17日森委員

文化活動事業

⑦地域の芸術活動支援講座「浴衣の着付と日本舞踊」

- ・ 6月18日（土）、19日（日）開催
- ・ 担当 森委員

男女共同参画事業

⑧男女共同参画講座「コロナ禍を経験して考える人と地域がつながる共生社会」

- ・ 5月14日（土）～7月23日（土）隔週開催（全6回）
- ・ 市報4月15日掲載 定員16人（1回のみ参加可能）
- ・ 担当 森委員

3) 講座（開催中）

成人教育事業

①市民講座 地域福祉のための講座「認知症カフェぬくいきた」

- ・ 参加者5人、にし包括職員は今後参加予定
- ・ 介護者サポーターの参加者は、マージャンの先生にも参加していただくようお願いしてみる
- ・ 今後、水分不足になりがちなので、飲み物持参を明記する

4) 講座（開催後）

青少年教育事業

①世代間交流の推進

「サイエンスカフェどうなる？月開発の未来～みんなで考え、語り合おう～」

- ・ 3月19日（土）午後2時～4時開催
- ・ 講師 日本科学未来館 科学コミュニケーター 中島さん
- ・ 定員8人 応募5人 参加4人（当日欠席者あり）
- ・ 中学生から高校生の女性4人が、月開発に伴い宇宙でもゴミは発生するためルール作りが今後は課題であるなど対話を深めた。

②世代間交流の推進

「サイエンスカフェコミュニケーションを科学する～誰もが暮らしやすい社会のこと～」

- ・ 3月20日（日）午後2時～4時開催
- ・ 講師 日本科学未来館 科学コミュニケーター 田中さん
- ・ 定員8人 応募6人 参加5人（当日欠席あり）
- ・ 小学生から高校3年生の女性5人がコミュニケーションについて心理学的視点というより、科学的な視点で考えた。

③世代間交流の推進

「SDGsで何をやったらいいか悩む人向け『ハマるSDGs』」

- ・ 3月29日（火）午後2時～4時開催
- ・ 講師 日本ユネスコ協会連盟 関口さん
- ・ 定員8人、応募7人、受講6人（当日欠席者あり）
- ・ 小学5年生から20歳代、40歳代の女性6人参加
- ・ SDGsは環境問題だけではない身近な日常生活での取り組み、多様性や教育などを含むことを学ぶ

成人教育事業

④市民講座 地域福祉のための講座「座談会—認知症の介護が始まったとき—」

- ・ 3月17日（木） 第12回目を開催
- ・ 参加者4人 森委員参加
- ・ 座談会の場で話すことで気持ちが落ち着き、自身の考えが整理されてゆく
- ・ 座談会に参加して良かったという感想をいただく
- ・ 参加人数は少数だが大切な講座と思われる 継続してゆくことが重要
- ・ 今後の介護の参考になったという意見あり
- ・ いろんな世代がいて助けてもらうことが大切

⑤成人学校 健康づくり講座「おうち時間で楽しむ俳句入門」

- ・ コロナ禍で感染予防の観点で葉書での添削による講座
- ・ 応募30人、感染状況に左右されずにできた
- ・ 担当者は作業が大変な講座 来年度も継続するかは今後検討することとする

⑥成人学校 地域研究「こがねい散歩～武蔵小金井駅南口の発展をみる～」

- ・ コロナ禍の影響で本来の開催日は2月4日だったが、開催を3月4日に延期
- ・ 商店街の方々からのお話を聞きながら街の歴史を伺う
- ・ 普段、なかなか商店街の方々からゆっくりお話を聞く機会はなかったため良い機会となった
- ・ 今後、商店を活用した講座を地域研究（街おこし講座）として企画するのも良い

⑦成人学校 きたまちセンターの花づくり・緑化活動

「きたまちセンターの花サポーター講座」

- ・ 9月1日から3月30日まで いずれも水曜日開催、全10回
- ・ 花好きの情報交換の場でもある
- ・ 今年度も土づくりから始める講座を予定

文化活動事業

⑧利用団体のつどい「第8回貫井北センターまつり」

- ・ 3月26日（土）午前10時～午後5時、27日（日）10時～午後3時開催
- ・ 約500人来館
- ・ 感染症対策で2団体辞退
- ・ 3年ぶりの開催となったが、コロナ禍の影響を受け例年と比較すると少なかった
- ・ オープニングイベント 一中の演奏がアンケート結果から盛況だった
- ・ バルーンアートの整列方法、配付開始何分前からが最も良いか検討の必要あり
- ・ 初参加の新小金井レールクラブの展示と体験が盛況

- ・受付時、図書館の利用者との区別が大変であった
- ・発表部門の会場となった北町ホールに入る人が少なかった 周知方法が課題
- ・景品の渡し方も検討する必要あり

図書館貫井北分室・公民館貫井北分館連携事業

⑨「『死』と『生』を絵本で語り合うデスカフェ」

- ・3月19日（土）3回目 ZOOMによるオンライン開催
- ・14人募集して10人参加

⑩「手製本工房きたまち堂」

- ・3月31日（木）午後1時～3時開催
- ・募集8人、参加8人 小学生から20歳代まで
- ・洋本と和本を制作
- ・和本制作に時間がかかり、終了時刻が40分間延びた
- ・「また開催してほしい」「楽しかった」という意見と感想をいただく

⑪「YAひろば」

- ・全6回予定であったが、コロナ禍の影響を受け2回中止
- ・令和4年度は5月22日キックオフ 来年3月19日まで定期的に行う
- ・5月1日から「きたまちYAサポーター」を募集

2 審議事項

1) 青少年教育事業 世代間交流推進

- ・昨年度のアンケートや、きたまちYAサポーターの意見を反映させて企画する

2) 自主グループについて

- ・貫井北分館から自主グループに至ったのは5団体
- ・自主グループに結びつく講座も、情報収集しながら考えてゆく必要あり

3 その他

1) ロッカー抽選会

- ・コロナ禍の影響を受け、公民館職員による抽選を実施
- ・生活室と創作室は同じメンバーのため抽選なし

2) 利用者懇談会

- ・コロナ禍の影響を受け、中止
- ・代替案として利用者アンケートを実施

次回企画実行委員会議：令和4年5月17日（火）午前10時から